

平成26年度実施 指定管理者制度導入施設モニタリング結果

施設名		東村山駅西口公益施設(サンパルネ)			
導入年月日	平成21年10月1日	現行の指定期間	平成21年10月1日～平成26年9月30日(26年度に期間更新) 平成26年10月1日～平成31年9月30日		
指定管理者	東京ドームグループ	市所管課	健康福祉部健康課		
指定管理料(26年度予算/25年度決算)	49,796,000円/48,141,140円			総合評価	
シート項目	業務の履行	・執行体制につき、職員、アルバイト、委託先の区分を表示した管理運営体制を明記すること。			A
	維持管理	・書類・資料調査で確認 ・修繕費は小口11件 ・緊急時については、「自主防災組織図」「緊急時連絡先一覧表」を作成し対応			A
	サービスの質	・利用者アンケートの実施(25年度は年2回(6月・11月))、約300～400人の回答 ・アンケートの総合的満足度は、交流事業、リラクゼーション事業が高く、マシン・スタジオが低い。			A
	地域連携	・6月の都議選、7月の参院選、2月の都知事選の期日前投票会場として利用 ・市役所保健事業等への協力			A
	個人情報保護	・健康増進施設利用定期券購入等は、データベースで情報管理される方がよいのでは。			A
	経営状況	・本業務の実施に係る経理と自主事業の経理を別々に管理していただきたい(銀行口座を含む)。			A
講評等	<p>・平成26年9月30日に指定期間が満了したが、引き続き東京ドームグループが指定管理者となり、業務を運営している(今年度のモニタリング対象は、平成25年度決算時)。指定期間満了に際しては、決算報告、備品関連の引き継ぎ、更新記録等の報告をお願いしたい。</p> <p>・マシンジムの年間利用者は前年比5.6%増、スタジオ成人プログラムは10.2%増となった。初回者オリエンテーション、健康カウンセリング等初心者に対するアプローチに重点を置いたこと、ヨガ教室の増設が主な理由。しかしマシンジムは、平成23年度をピークに減少傾向にあり、利用増加策を期待。</p> <p>・市民交流プラザ利用者は、リラクゼーション20.4%増、カフェラウンジ59%増と大幅増となり、市民文化交流の場として有効に活用されている。</p> <p>・コンベンションホール、会議室の利用者は毎年増加している。市民の集いと文化交流が活発に行われた結果と思われる。</p> <p>・備品管理について、I種は確認できたが、II種・リース物件との区別について明確な表示が必要。</p> <p>・収支状況につき、総収入は前年比8.1%増、支出は同9.6%増、利益は217千円だった。収入はリラクゼーションとカフェラウンジの寄与が大きく、経費節減に努めたが、電気代の増が収益を圧迫した。</p> <p>・収入のうち、テナント売上として業務委託先2社が含まれているが、本事業の市民交流事業と思われるため、検討いただきたい。</p>				